大正六年一月十九日發行（毎週金曜日發行）
第三巻第三號
大正四年十一月四日第三種郵便物認可

THE WOMAN'S WEEKLY

婦人週報

目次

□學生の食物……小橋三四子
□時事週評……
□教育ある主婦へ　高島平三郎
□藝術味の乏しい日本婦人の服裝……齋藤與里
□一人一評＝大山捨松子…綾野村人
□名物教授（一）成瀨校長の倫理　一記者
□兜町に働く只一人の女…民子
□紀遊「甲斐の山」……安中花子
□儉約物語「手の先きから出る綿」……近藤浩
□希望の花……廣田花崖
□惡い癖と間違つた見栄……澤田撫松
□凍瘡類の養生の仕方……村松石子
□寒い日の惣菜……和田むめお
□氷豆腐の料理……寒國の人
□職業案内「刺繡」……林利三郎
□オハナシ「雪姫物語」（中）……廣田花崖
□小說「力」……木内錠子
□讀者から……
□時事……編輯室より……

定價一部四錢五厘（郵送料五厘）

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

昨今の寒空に
千萬金にも代へられぬ
お肌のアレを防ぐは

唯一つあるのみです
本品（オキシナー）の最大特色は色を根本から白くする
のですがアレを防ぐにも天下一品です

定價	
大	四十錢
小	二十錢
料	四錢

本舗
東京赤阪溜池
オキシナー商會
電話新橋三六二六
振替東京三四〇〇九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學生の食物

誤った營養觀念

□男學生と會食して

新年になつて、男子の學生方と會食する折が屢々與へられましたが、其の都度不思議に思ふことは、其の食物の量の甚だ少いことゝ、いかにも口に合はぬらしく、野菜類を皿に大變殘すことです。其の後お子様を澤山お持ちの奥さんに會つて、この話をすると、實際此の頃の學生方の口の奢つて居る事は、とても家持ちなどの想像の出來ぬ事で、青年期にある者計りでなく、小學校に通ふ兒童迄が、お八つになつても、燒芋位では滿足しないお子さん方が甚だ多くなつたと申されました。

□贅澤の傾向

近年料理や衛生が進歩するにつれて、一般の食物がよくなつたとすれば、喜ぶべきことですが、兒童や青年達のこの食事振は、確かに度に過ぎた贅澤の傾向を見せて居ります、滋養品が必ずしも肉類計りではなく、又高價のもののみに限られては居らず、却つて今日日本の洋食屋が獻立するやうな肉類攻めでは身體の爲めにもならぬ事は分つて居ります。殊に兒童のお八つなども砂糖澤山の菓子類よりも自然の甘味を持つた薩摩芋の類が、幼い腸胃に合つて居ることは、學理上からも認められます。

□某醫學博士の說

先日國家醫學會の席上で、某醫學博士は、兒童の營養に就て、世間の親達ちの誤つた考へを指摘した中に、只兒童に滋養物を與へれば、其の體質を丈夫にするものとのみ考へ、やたらに肉類や脂肪類を與へれば、其の爲めに思春期を早め、頭腦の發達を計る上には、好ましからぬ事であると申されました。專門家から云へばかゝる說には、種々の異論もありませうが、然し都會の兒童が早熟はしても、大器となる事が稀れな事や、良家の子女が、墮落に陷り易いことなどを考へ合せて見れば、其の原因は尙他に多くありとしても、亦食物の過度の營養といふことも一因を爲して居るのではないかと思はれます。

□自然に逆らはぬ方針

から申したとて、百姓家の食物が理想的であるとは、決して申しません。麥飯やお汁煮などを、十二分に詰め込んで、辛うじて營養を取らなければならぬやうでは、精神的の勞働の多い今日の人には、到底身體を支へ切れぬ事は、分つて居ります。これと同時に、所謂文明的の食品が必ずしも營養物ではない事も考へなければなりません。文明國人の食卓に見るやうな酒や辛味の力で、漸く食慾を增して行くやうに、人間の味覺が清新な力を失つて終ふ事は、寧ろ身體上の退化であります。要は兒童期、青年期、壯年、老年とそれ〴〵の身體の變遷を基として成るべく自然に逆らはぬ方針の食物を撰ぶ樣にしたいものです

□兒童の味覺を害ふ大人

兒童の本體から云へば、決して贅澤な食品を喜ぶものではなく、極めて原始的な味ひを好むのですから、此の頃で云へば、燒芋、蜜柑のやうな自然の味を多分に持つたものを好む筈ですそれが洋菓子でなくてはいやだ —

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とか、薬物も煮てなければ腸胃に障るとか云ふやうな子供は、周圍の大人が可愛い〻、可愛い〻の、餘りに、餘計な物を與へ始めたのが基で、かやうなお子さんに限つて、食膳に向つては好き嫌ひ計りを並らべて、ろくに箸は取らず、間食計りを喜ぶやうになり、其の爲めに腸胃を害ひ、神經質の虛弱なお子になる事怪しむに足りません。

□病的な味覺

青年期に在る學生達も、いかに頭腦を使ふにしても、なほ身體も發育盛りであります。食物の好惡を云つて居る暇などはなく、盛んに食べて消化しなくてはならぬ時です。然るに下宿屋の飯は不味くて仕方ないからとて、彼方此方の洋食屋や肉屋に入り始めたのが原因で、遂に口を驕らして終ひ、酒がなくては飯が咽喉を通らぬといふやうな病的な味覺になつて終ふのではないかと思はれます。

□營養の不足と浪費

日本婦人は營養不良の結果、大事な青年、壯年期に結核に冒され易く、其の爲め死亡する者が世界に比類がないと申します而して兒童や青年延いては壯年の男子の食物には、營養の浪費があります。これは一家の臺所を司る主婦の大に考ふべき處で、もつと合理的に、日常の調理の献立が行はれなければならないと同時に、兒童や青年の食物には、贅澤に陷らしめないやうな精神的の訓練を與へて行く權威が、主婦にあつて欲しいと思ひます。

□健康と國家の經濟と

獨逸に留學した人々は、彼の地の學生の食物が甚だ質素であると口を揃へて申します。大學の助教授位でも、晝飯には机の抽斗から、乾いたパンの一塊を出して水で食べるに過ぎないとの事です。日本の學生が獨逸の學生以上に頭腦を使ふとも思はれません。營養不良で身體を疲らすには、食物以外の原因がある場合が多いので、常に青年らしい元氣を蓄へて、よく勉め、よく遊ぶ人は、敢へて珍味を貪らずとも・丈夫な腸胃で充分な營養を得て行くことが必ず出來やうと思はれます。この事は、青年達の健康の爲めにはもとより、國家の經濟から云つても、疎かに出來ない事です。（三四子）

時事週評

□聯合軍と獨逸の意向　米國大統領の講和斡旋に對する聯合軍と獨逸の意向は、別項時事欄に記載したやうに、なほ講和の難かしきを語つて居ります。横暴なる獨逸の意志の、碎かるゝには、まだ遠くあります。獨逸が「今後の戰爭繼續は一に敵國の責任なり」と三百代言式の言葉を弄すに至つては、聯合軍が自由と正義と、將來の眞の平和の爲め、最後迄戰はんとする意志を一層强むるはさもあるべき事と思はれます。

□眞の富豪　アルミニユーム發明を以て巨萬の富を致したる米國富豪チャールス、エム、ホール氏は、昨年、逝去に際し、遺產五千萬圓を三分して、在米二大學と、日本及び亞細亞諸國の學界に寄附する旨を遺言し、今回其の實行委員が日本にも參りました。近年往々排日の擊等によりて人道的の魂衰へたるかの如く考へらるゝ米國に、かゝる美擧を企てらるゝのを見て、其の根底の尙搖かぬ事を知るに足ります。金に使はるゝに非ず、金を立派に使ふ眞の富豪を見るはいかにも心地よい限りです。日本に於ても今回岡山の富豪山上東治氏が岡山醫專に十萬圓を、山本準三郎氏が同志社に六萬圓を投じたるが如き、富の有用な費途の講ぜらるゝに至つたのは、眞に喜ぶべき現象であると存じます。

□道德の標準尙低し　此の頃旅中に在る、一教育家は、福島日々新聞の切り拔きを本社に送り越されました。之れには彼の地の赤十字と愛國婦人會の聯合の新年互禮會」の記事が「醜惡なる婦人互禮會の名の下に掲載されて居りました。知事閣下夫妻、學務課長夫妻等を始め、數十の彼の地上流婦人方の集會にも拘らず、極めて淫卑な福引の文句等（此處に再錄するを恥づ）を喜んで、拍手喝采し、誰れ一人怪しむ者なかりしと云ふのであります。こは同地婦人會のみならず、一般の道德的觀念の未だ極めて低きを語つて居るもので、心ある者の努力によつて、其の思想を覆へして、早く紳士淑女の出現を望みたいものであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

教育ある主婦へ（上）

生の根底はありや

高島平三郎

□下女の頭

家庭の女王などいふけれども我國の主婦は、概して、主權者たる夫から辭令の書付こそ貰はね、宛然下女頭である。然らざれば高等子守である。しみ〴〵と人生を味ふでもなければ、藝術を樂むでも無い。夫を理解し且つ夫に理解されて、共に人生の戰を戰ふでもなければ、さりとて高き理想を心に秘めて、一切を謙抑隱忍してその輝を子供に托するでも無い。多くは下女や子守の同僚先輩若しくは指揮者として、唯わや〳〵にその日〳〵を送つて居る人が多いやうである。

□唯一の心の掟は貞操

かゝる賢妻君の唯一の心の掟は貞操といふことである。而かもそれは理由なしに因襲的に强ひられて、之に背けば世から非難されるのを恐るゝ爲めに、家庭でも學校でも之を敎へるのである。その唯一の貞操さへも、時としては虛榮の滿足の代として差し出す既婚の婦さへある。貞操は固より大切なる女德である。之を女の生命と敎へるに於て、余は毫も異存は無い。併し夫がどうあらうと、家がどうあらうと、國がどうあらうと婦人は貞操さへ守つて居れば、それで能事了れりといふ可きでは無い。貞操以外に我國今日の主婦の重んぜねばならぬ德は多くある。

□要求せられる仕事

主婦の仕事とさへいへば、先づ裁縫を强ひられ、料理法を無理押しせられ、お襁褓の拵へ方や、洗濯の仕方が講ぜしめられる。それは、孰れも必要の事で、どの家でも、日々取り扱つて居ることである故、之を女に敎へ主婦の任として之を實行せしめるに、何等の不思議もなく、又異論も無い。併し、これが主婦の仕事の全體であつては、餘りに氣の毒の感がする。敎育が時代を追うて着いて往くのみでなく、多少とも、時代に先き立ち時代を導くものとすれば、今日の主婦たるべき人に、このやうな事のみを强制して、賢妻良母の資格具はれりと心得るなら、それは時代差謬の考である。

□農業本位と商工本位

家庭が農業本位で、何物も家の中で製造せねばならぬやうな時代には、裁縫も料理も、その外こま〴〵した事が、皆主婦の手に落下し來らねばならぬであらう。今日も、將來も、農業家の家庭は、これが大切であらう。併し、都會に於ては、すべてが大なるスケールで行はれ、從來主婦の重要の仕事の如くに思ひ做されて居た裁縫でも、料理でも、漸次專業家の手に歸せんとして居る。歐洲の都會に於ては既に此の現象が實現されて居る。これは、商工本位の家庭に於ては、免れることの出來ぬ自然の勢であらう。併し、いくら世が進んでも、母として、子供の育て方を知らずして可なりといふことが、一般になる處は無からうかと、育兒法に腐心するのは、獎勵こそすれ、毫も異論は無い。唯、學校で敎へることとや、又主婦自ら注意することが具體的個々の經驗の見聞に止ま

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて、毫も科學的知識の根底に觸れぬのは、現代の此種に關する婦人の教育の大缺陷である。

□人格はそれ自らが目的

カントが、夙に唱へたやうに人格はそれ自らが目的である。決して、他の手段として生存すべきものでは無い。主婦が、唯子を產む器械となつたり、主權者たる夫の口腹を養ふ仕事の爲めにのみ生存して居るやうでは人としての生き甲斐が何處にあるか。併し、誤解してはならぬ。余は、かくいへばとて、主婦が家の爲めや、夫の爲めに辛い水仕業をするやうなことが、つまらぬ事であるとか、人として生存の甲斐の無いことであるとかいふのでは無い。夫婦が眞に理解し合ひ、愛敬し合ひ、共同の目的理想の下に働くのなら、現在の中流下流の主婦の仕事よりも、もつと〳〵つらい仕事をしてもそれは立派な人格的事業である。夫は「おれが養つてやつて居る」と思ひ、主婦は「喰べさせて戴いて居る」と信じ、奴隷と主人との如き關係が、內面生活に成り立つて居て、唯だ裁縫がいくらよく出來たとて、料理がいくら上手であつたとて、それが何にならうぞ。況して母たる人に立派な人格の自覺なくして、どうして完全に子供を教育する事が出來やう。

□安全第一お妾さん

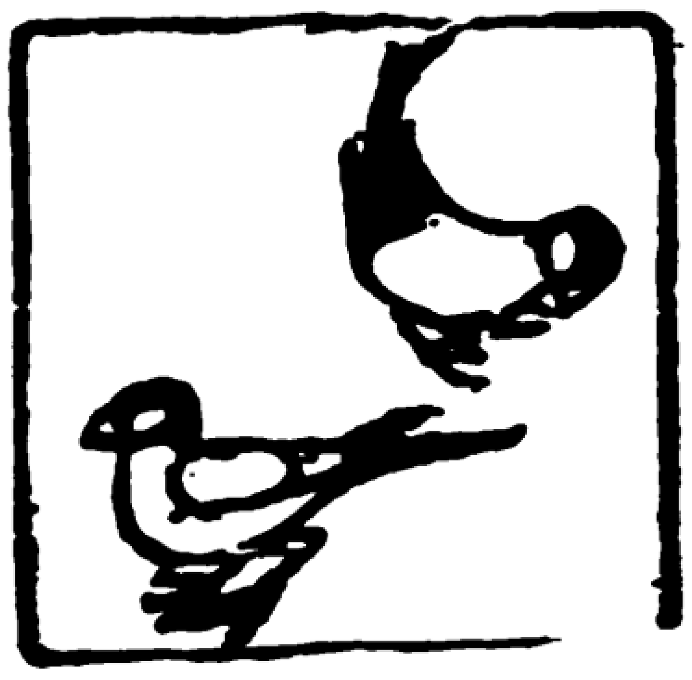
試みに見よ、教育ある婦人で未だ嫁せざる時は、理想の人格のと、色々徹底したやうな言辭を弄した人々も、虛榮といふ女の弱點に付け入られ、夫たる人の人格性行は二の次三の次として、金がある、勢力がある、手腕がある、乃至男振りが好いといふやうな月並の事に唆かされて結婚し、當座は珍らしさに、夫の愛も己に集め得て、羽織も拵へて貰へば、帶も出來るといふので、大得意であるが、偖て半年立ち一年立つ內には、品性無き夫は、その本性を暴露して、一人も二人も外妾を蓄へるとか藝者に入り揚げるとかいふやうになり、主婦は眞成の飾り物、所謂立派な高等子守、下女頭となり了つた者が少くないでは無いか。かうなつて爭ふことが出來るのは、眞の自覺と經濟の獨立のある人丈けで、他は安全第一お妾さんに安んじて、たゞ養つて貰ふとか、着物を拵へて貰ふとかいふので、涙を飮んで居る。かゝる主婦でも、外に出る時には美しき新流行の衣服を纏ひ自動車に乘り、意氣揚々として居るから、人の內面生活を讀み得ぬ群衆は、立派な奧樣、えらい主婦として、驚の目を瞠るのである。併し心ある者は、その內面生活の憐れさに、同じく驚の目を瞠るのである。偖ても裏表ある浮世かな。

□高き精神生活に

併し余は現代のかゝる狀態を皆主婦の罪として、弱き女をのみ攻擊するやうな沒分曉漢ではない。現代に於て、全く純潔な面して双方に徹底的理解を有する理想的結婚をなし、理想の夫婦生活をせうと思へば、大抵の女性は、生涯配遇を得ることが出來ぬであらう。出來る丈け選擇し、その上で、上述のやうな事があつたとて、直ちに女を責める事は出來ぬ。たゞ斯ういふ場合に處するに、徒らに悲觀したり、自暴自棄したり、又たゞ奴隷の如くに消極的貞操を守れるのみで、活きて居るばかりといふやうな人となつてはならぬ。夫の理解が無くとも、他人の理解の得られぬ事は無い。全人類の理解は無くとも、神の理解の無いといふことは決して無い。高い深い淸い精神生活に活きるのが、普通の場合に於ても必要であるが、斯る場合には一層大切である。人は何時も、哲學を要し、宗教を要する。哲學や宗教は人の思想の產物である人の深みは哲學（廣義の）宗教を外にしては出來ぬ。我國の主婦で、生の根底をこゝに置いて居る者が、果して幾人あるか。

四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



藝術味の乏しい日本婦人の服装

顔を本位の撰擇が必要

齋藤與里

□定まり切つて居る

我が國の衣服は外國のそれに比べて、隨分藝術を施し得べき餘地が澤山あります。これに藝術を加へて、着物本來の目的を充分に果させるのは、興味深いものと思はれます。然るに今日の着物を見ますと、藝術上の價値は勿論、着物としても餘りに價値の尠ないものが多いやうに思はれます。御覧なさい、子供の物と云へば、定つたやうに赤や靑の强い色彩を萬遍無く蒔き散した友禪模樣が多く、大人の物と云へば、直ちに縞となり絣となつて、模樣を取り入れる事は極めて稀になり、辛うじて模樣を入れゝば、小紋の如うな今も昔も變らない柄行き以外に出る事は稀れであります。時折り大人物として草花小禽等を應用したものがありましても、少し心ある人々は矢張り單純な縞物の方を擇んで着物に用ひて居ります。

□工場機械本位の柄

單なる縞物よりも、工夫を凝し、技巧を練つた模樣物の方が遙かに優秀であるべき筈でありますが、一般は人工を施せば施す程、効果は寧ろ反對の結果を生んで居るものが多いと云ふのは、現代人一般の藝術思想が低い爲めに、機業染色業者に對する要求が尠なく、却つて彼等は工場機械を本位として、丁度それ丈のものに依つて製造し得る程度の製造品に、多少の技巧を交へて、これを需要者に供給し、需要者は與へられたものに依つて滿足して居ると云ふ有樣であるのではなからうかと思はれます。要するに需要者の要求が低級である以上は、何處までも現今の狀態を續けなければならない譯であります。

□新鮮な氣分を與へる物

そこで日本人の體格、及び運動等によつて、これに調和する色調を考へますに、西洋人の如うな派手な色、即ちパットした色は子供、大人を通じて日本人には適しません。寧ろ地味の色合の方が、調和し易いのです。然し同じ地味の中にも、子供物は何處かに子供らしい感を持たせ、若い人の物は、水々した若やかさを含ませ度いものであります。子供らしい感、或は水々した若やかさと申しても、決して櫻や菊を散らした友禪模樣の如うなけば〳〵しさを云ふのではありません。即ち生の感のするものでなくて、新鮮な氣分を與へる物であり度いと思ひます黒等は色としては最も地味のものであります。が、これに意匠を施せば如何なにでも派手の物を作る事が出來るのです。同じ縞物にしても毒々しい迄に靑や茶の太い線を並べなくても、細い線の寄り集りの中に極く洗練された若やかの一色を加へれば、完全な派手やかさを出す事が出來るものです。そして其の微妙の間に作られた派手の物の方が一層善い感を人に與へるのです斯くの如く色なり模樣なりを地色との調和を潰さないやうに、或は縞となし或は模樣として行けば、大人ものに模樣を取り入れる事、大體は地味で居て、上品な派手やかさを出す事も、決して困難の事では無いと思ひます。

□自然が本位

元來着物の目的から云へば、着物自身が完全なる美の表象でなくてもいゝと思ひます。美しい着物を着る事が人を美しく見せる所以ではありません。吳服

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

店の飾窓等にはかなり美しい所謂人工美を備へた手藝品と謂はるゝものが澤山あります。あれ等はそれ自身見た時には、隨分美しいものに違ひありませんが其を身につけた時に却つて反物の時よりも見劣りするものが澤山あります。これは畢竟着物の目的を忘れて居る爲めではありますまいか。一體美は自然を尊べば尊ぶ程其の標準は高くなりこれに離れる程下品になつて行くものです。支那の女店員、日本では京都の舞妓等は自然美から最も遠ざかつたものであります。これも一種の美の標準には違ひありませんが、全く人工的のものであつて、そこに生命を見出す事は出來ません。自然美中心であるならば、顏手足が中心となり、着物はこれを如何に補ふべきかを考ふべきであります。着物の爲めの身體で無く、身體の爲めの着物であるのです

六

から、必らずしも着物其のものが完全した美で無くても、着た時に身體と共に完全な自然美を出す事が出來ればいゝのです。ですから着物を撰ぶ時、或は模樣もの等を新調する時には、其の心持で、何處迄も自分を中心として撰ぶと云ふ事を忘れないやうにして欲しいと思ひます。

□羽織るもの

又羽織と着物とは、凡て上に羽織るもの丶方が着物よりも濃い色合で、柄の大きいものが調和するものです。然し日本人の衣裳の上から見た美しさは、帶にあるのでありますから、其れを羽織で蔽ふのは誠に惜しいと思ひます。たつて用ひるのならば、コートのやうに外出用に丈け用ひて、室内にあつては成る可く用ひず、帶と着物とで藝術的美を充分に出して行き度いと思ひます。

（一人一評）

大山捨松子

◎かの大山公の薨去は、元老達の凋落——と云ふよりも、確かに興味深い疑問を政治上に提供したもので、こゝに赫山と云ふ一個の調和劑を失ふた今後の元老會議が果して圓滿の解決を見るかどうか、吾にも、人にも問題であり、面白味のある處でもある。

◎が、更に吾等に興味深く觀測せられるのは、大山公の歿後に於ける未亡人捨松子の將來、殊に信仰の人として、如何に生き、且つ如何に社會上に盡力されるかと云ふことである。捨松子夫人が今日迄に、大山公の令室として、社會的に貢獻されたことは、茲に繰返す必要もないが、靈的生活に於ける捨松子の今後に、吾等はいろ〳〵の期待を持つものである。

◎明治廿一二年頃の大山夫人を熟知せる某氏は『當時の夫人は熱心なものでした。この時代に大山公は陸軍大臣で、故桂公は次官でした。大山夫人の熱心な信仰は桂公の令室を感化して洗禮を受けさしました。その際に桂公が「乃公も其の中に水をかぶる心算ぢや」と語られたことがあります。この時代の捨松子さんの信仰は熱烈でしたが、目下は甚だ臆病になられてをる』と云はれたことがある。

◎それは大山公の他界さる十餘日前であつた。然るに良人に別れた捨松さんは、少くも自由になつた、地位に對する觀念も多少の輕きを感ずるであらう。その大山元帥の未亡人が『良人の死』と云ふ嚴肅な大問題に逢着して、如何に信仰上に變化を示すであらう？

◎果して某氏の語りしやうに捨松子夫人は信仰生活に臆病者として今後を終るか。吾等は興味深く觀察してなるものである。（綾野村人）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名物教授（一）

日本女子大學校
成瀨校長の倫理

▲毎土曜日と水曜日、夕闇が校庭の木立の末から押し寄せる頃になると、女子大學の往來に沿ふ赤煉瓦の建物の中から、ぞろ〳〵とノートをかゝへた無數の學生が流れ出る。そして言ひ合はせたやうにほんのりと薄紅色に逆上した顏を輝かせながら「ほんとに今日の實踐倫理はよかつたのね、ほんとに、生き甲斐のある眞實の人生は、あゝなくてはならないんだわ。」などゝ熱した口調で話していく。その光景はさながら、何かの信者がその宗教に全く歸依して感激し切つた時のやうである。

▲實踐倫理――夫れは成瀨校長が毎週一回づゝ、約四時間、時とすると五時間も六時間もぶつ續けに說かれる時代思潮の講演と夫れに對する批評とである。その時間の長いことには、まだ親しみの薄い初めての學生は、大抵うんざりして了ふ。が夫れ等の怠慢なる學生も、卒業期の近づく頃になると、不思議にも悉く一かどの歸依者と變化する。或る時は努力奮闘と言ふやうなことが說かれ、或る時代は犠牲と言ふこと、或はプラグマチズム、或はエマーソン、或はタゴールと、その深みの如何に拘らず、兎も角も思想界に何等かの波動を起さうとするものを次ぎ〳〵に捕へ來つて演題とされてゐる。學生は物珍らかな耳を欹てゝ聽く。世間でこの校長を以つて若い女の心を收攬するに妙を得てゐる一人の事業家のやうに言ふのも、斯うした所から來るのかも知れない。

成瀨校長と倫理を聞く女學生

▲校長のこの講演の仕振りには又特色がある。或る時は學生の友達のやうな態度となり、或る時は試驗官となり、或る時は演者となつて能力の啓發につとめられる。又時には全く思ひがけないことをして學生の度膽を拔かれることもある。夢物語などはその中の面白いものゝ一つであらう。

▲校長は男としては短軀な方ではあるが、演壇に立たれるとさうした他の男に見るやうな可笑し味はない。何處となくドッシリとして重々しい感じが湧く。そしてその人を射るやうな鋭い炯眼、一見近づき難い人のやうにも思はれるけれど、慈父に見るが如き温情があふれてゐる。神佛耶の三教合同の宗教が樹立されるまでは耶蘇教主義の學校と見做されてゐたほどその講演の口調には、何處か牧師の面影がたゞよつてゐると或る人は言ふ。話が佳境に入ると時間などの念は消えていくらしく、眞夏でも火ともし頃に漸く終ることがある。發音の六ヶ敷い英語と絕え間なく眼鏡をかけたりはづしたりされることゝ、フロックコートの裾を後で結ぶやうに折り疊まれることゝは、氏特有の癖の一つ。（一記者）

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兜町に働く只一人の女

病夫を養ふ決心より

□一本咲く白菊のやう

一秒時を競ふ兜町の空氣は殺氣立つてゐた。充血した眼を不安らしくキョロづかせながら慄へてゐる人、青しなびた顏にどク〱と痙攣を起してうつむき歩んでゐる人、包み切れぬ歡びを獨りの胸に疊みかねて、踊るやうに宙を飛び行人、さま〲な人の流れが、うよ〱と堰の切れた大川の夫れのやうに流れ流れてゐる。私は一家を脊負つて奮闘されてゐると言ふ東京株式取引仲買井手商店の店員白井よしをさんをその店にお訪ねする。こぼれるやうに愛嬌のある小太りの婦人である。澁いお召の二枚重ねの上にお召の羽織を重ねられたよしをさんは、聞き慣ぬ耳には普通の話も喧嘩かとさへ疑はれる荒々しい中から、白菊のやうな氣高かさで、柔かな、靜かな言葉でその日常を語られるのであつた。兜町にはよしをさんは只一人の女店員であるといふ。

□金丈けの世界

『ホヽ、此處は金だけの世界でございますから、御想像以外の世の姿が、一寸御覽遊ばしてゐてもお眼に映りませう。このグループでは金だけが通用致します。はじめて此處へ飛び込みました當時は、覺悟を決めてゐた私でさへ、しばらくの間は、世の中が變に狂つて來たかのやうにさへ感じられる位ゐでしたから……。他では見られない面白い、無邪氣なこともあると同時に、眼をつぶりたいことも限りなくございます。人情とか、人格とか、然う言つたものも、悉く金で塗り上げられてゐるやうなものでございます。機智、瞬刻の機微をとらへるすばしてさ夫れが此處では唯一つの武器のやうな氣が致します。しかし大なる成功を收める人には、必ずその何處かに、他の人には見得ない、物を包擁する大きな力と、光つた所とが見えます。つまり金の社會でも、單なる我利々々では最後の勝利の得られないやうに思はれます。』と言つて微笑み、そして言葉をつゞけ朝は九時頃から出て客先を方々廻つたりなどするので、夜は時とすると赤電車で歸へるので勤めの時間は一定してゐない。型に嵌まつた仕事でない丈けに、自分の頭腦から生み出せば、限りなく働らく事がある代りに、またてれが誰れに命令されるといふこともないので、自由な心安さがあります」など仰有るのであつた。收入は定まつた俸給は多くなくとも、働らき次第でどんなにも餘分にすることが出來ます婦人の職業としては可成り多く、時々の景氣によつて違ふとのことである。

□張り切つた生活を望み

よしをさんは今年二十八、その幼時を伊勢の松坂で送られたお父樣は土地の名望家で且つ土地の新聞の社長であつたので、乳母日傘で女學校を卒業し、殆ど苦しみと言ふものを知らずして、親の手から多くの女が歩む運命と同じやうに良人の手に渡られた。夫れは今から六年前のことである。當時御良人はまだ某大學の學生であつたが、この若い二人は、世の中は唯華やかな色に塗られたものゝやうな幸福なものに見えてゐた。そして二人の愛兒さへ加つたので、いよ〱幸福な月日がよどみなく流れてゐた。がこの平和な、幸福な家庭にも悲しみの襲ふ日が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

來た。夫れは御良人が學校を出られた翌年重い病ひの床に臥されたことである。病夫の養生費も嵩み、一家の生活費も尠なからず要する此の際、徒らに親類縁者にのみ賴るのを潔しとせられなかつたが、されぱと云つて專門の職業があるではなしと思案にくれた夫人が、女の腕をも思ひ切り試して見やうと、その家族を引き受けてこの殺氣立つた、社會に奮闘されるやうになつたのもこの日からである。

『良人が病氣の爲めに靜養せねばならなくなりましたので、何時までも親の厄介になつてゐるのも心苦しい所から、ふとした事から此處へ勤めるやうになりました。私は丈夫な體を持つて居りますもの、働くのが當然なことだと思つてゐます。また働くと言ふこと位ゐ生きた感じを覺える愉快なことはございませんもの、自覺だなんて、其樣な面倒なうるさい話は私は大嫌ひです。私は唯もう張り切つた生活が致したい許りです。しなびた、生の感じのない人生には堪へられませんから、文句なしに、唯私は働きたいばかりでございます。色々のことを口の先きで叫んで、實際にぶつかつた時にたぢろく人より、子供を負つて、かけ聲勇ましく働いてゐる土方の女の凄壯な感じを與へますこと。眞實の幸福は、その人々の心の充たされた所にのみあるだらうと思ひます。現在の私は、斯うして働いてゐることと夫れ自身が最も幸福でございます。』と言つて、につこりと笑つてゐられた。房々とした黑髪は引きしまつた色白い顔を、美しく、若々しく見せる。二人の愛兒さへあると言ふのに、その姿には、何處か娘のやうな幼々しさがたゞよつてゐる。甚くなつかしみ味をおぼえさせる人である。この人がお金の勘定より外に何物もないかうした社會に立ち交つて働く人かと思ふと、人違ひのやうにも覺えさせられる。がその態度には人を擾著させる雄々しさが見えてゐた。何かの株に變化が起つたのであらう。街から街へ騒々しい聲がつゞいていく。夫人はその聲を追やうにジッと耳をそばだてられた。（民子）

甲斐の山

安中花子

人知れず涙ぬぐひぬ再びは蹈まじと思ふ甲斐の山ゆゑ

砲彈はしる戰の野も恐れじと我が魂は雄々しくも言ふ

甲斐の旅ふとの夕に行きあひし外國人も忘られぬかな

果しなき大天地に我が魂は住家求めて今日もさすらふ

倹約物語（八）

手の先から出る綿

近藤浩

お嫁さんが着物の仕立替に古綿を使用した處が、どうしても足綿の必要を感じたので姑に『お母さん足綿を』と要求すると、姑『足綿なしなくさも、古綿は手の先きからいくらでも出て來ます』實際古綿は、手の先きで丹精に引つぱると、いくらでも延びて來るものださうです

九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

希望の花

今咲くスノードロップ

廣田花崖

□アダムとイヴの物語

楽園を追はれたアダムとイヴは、其永久の春を後に、辛くも下界に辿り着いた。只見る一望荒蕪の野は、甘い鳥の歌と柔かい緑の草とに慣れた彼等の心を如何に傷ましめたであらう。併し彼等は最早躊躇しては居られなかつた。彼等は生きねばならなかつた。自ら家も建てた衣緞る業も習ふた。食物を作る術も覺えた。下界の生活が漸く安易になつた時、併し彼等は思ひもかけぬ冬に衝き當つた。冷い薄日と霏々たる雪と颯々たる寒風とさうして滿目白皚々の自然に出會つた時彼等は全く途方に暮れた。心いとゞ悲しめるイヴはある日傷む心の遣瀬無さにフラ〳〵と小屋を立出でた。さうしてとある丘の雪の中に生死も分かず泣き沈んだ。日が暮れて朝になつた。天國よりイヴの有様を御覧になつた神様は早速天使を御遣はしになつた。天使はイヴの側に立ち彼女の脊を撫でつゝ云つた。「女よ、暫く堪へ忍べかし、冬の苦はやがて來ん麗らの春の前兆なるぞ、見よ此雪を」と天使は雪を捉んで彼女の前へ差出した。と、奇しやそれは雪白一莖可憐の花となつて居た。「是は雪の花なり、希望の花なり、やがて來ん春を兆する花なり」と天使は云つて翩々と天國へ舞ひ戻つた。雪に印した天使の足跡にも一叢二叢と同じ花が咲出した。

□希望の花

此やさしい物語を持ちて希望の花と喜ばるゝはスノードロップ我邦で松雪草又は雪の花と呼ばれて居る園藝上の球根植物で、早春の頃草丈二三寸の可憐な緑の中から花梗を覗かせ、雪白の小白花を見せるのである。花言葉の「希望」は要するに前掲の物語から出たので、花の性質から見ても物語から見ても花言葉の中で最も宜しきに適ふたさうして心地よいものゝ一つである。

□作り方

此花は花戸へ行くと一鉢三四錢で賣つて居る。何しろ非常に小さい可憐其物のやうな草であるから、それに相應した小さい鉢へ植えたのは机の上へ置いて頗る可愛いものである。作り方と云つて別に厄介なことは無い。日當りが惡いと花期が遅れるから、成るべく南向の窓前などへおくがよく、若し温床木框のやうな特別の装置があれば、冬の最中でも咲かせることが出來る。鉢植に大切なのは灌水で殊にあまり濕り過ぎると球根が腐敗するから、よく其度合を保つやうにしなければならぬ。花が濟んだら地へ下して肥料を施し球根を培養するがよい。

新刊紹介

□我等何を求むるか（與謝野晶子女史著）新らしい世紀を生み成さうとして、渦巻ける現代が、鋭感の一女性に反響した聲とも見るべきもので、かのエレンカイ女史やシュライナー女史等の如く、組織立つた研究の下に叫ばれた婦人問題ではないが、日本現代の婦人の叫びを聞かうとする者にとつては、見逃す事の出來ない材料でありませう。魅力ある女史の筆が、不知不識の間に、終り迄讀ませて終ひます。（牛込區神樂町二ノ廿二天弦堂發行定價一圓）

□トバエ 石井柏亭、岡本一平、山下鈞、進藤俊介、近藤浩一路諸氏が同人となつて昨年十二月創刊された漫畫の雑誌であつて、一日、十五日の二回發行であります。諧謔の趣味の乏しい日本人の間に、この種の笑ひの種子を供給することは結構な事でありますが、同時に廣く家庭に入つても差支へないやうに高尚な點を失はないやうにありたいと望みます。（發行所麹町區内幸町一ノ五、其の社一部税共十五錢五厘）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

悪い癖と間違つた見榮

薄田斬雲

口飲食時の悪い癖

どうせ難かしい顔をして居る男には、別段目立たない事で、女の顔には、大變見つとも無い事になる場合があります。飲食時の悪い癖などは特にいやなものになります。其の一ッ二ッを數へると、箸で口へ物を運ぶ毎に、顔へ八の字を寄せて意地を立てる女があります。苦い顔して肝油を飲む人の樣に、一口毎に此の八の字が眉に現はれるのが、實にいやらしい下等な表情になります。こんな事は誰れも面と向つて言はないから、當人も氣が付かずに居るのです。それと氣が付いて、御自分で姿見鏡に對したら、成る程と首肯かれるでせう。之は都育ちの女によりは地方の女に多いのです。傍から見ると實に愛想が盡きる顔なのです。

モ一ッは物を食ふに手屛風をする習慣です。地方の媼さん達が能くやる事で、之は他人の前を遠慮し、他人に敬意を表する動作なのですが、却て失禮に當る事です。大變下卑た姿です。美味そうに上品に飲食すべきものです。

口着物に着られる女

男にも有る事ですが、女には殊に目に付く事です。美い物を着ると、他から注目されるのが、面伏せで、極り惡るそうにおど〳〵する女があります。然うすると折角高い金を出して着る着物も一向映りません。それに着物を惜しがる念から、歩行中にも絶えず塵芥をはたくのがあります。不權式に見えていけません。又反對に、平常服の儘で、一寸通りへ買物にでも出る時、女は恥かしそうにして、前に袖を合せ、伏目勝にチョコ〳〵走りをします。併し粗服であらうとも一旦外へ出ると定まつたら決して臆せず、平然自若として歩かなくては嘘です。平然たる度胸を据えると、美服を着た時は、一段に美を增し、粗服の時にも、着物を超越した風貌を得られます。美服に負ける人は粗服にも負けます。餘計に出しやばる事と、平然として端麗な姿を保ち、澄まして居る事とは、似た事の樣で、其實大變違ひます。

口外では女王内では乞食

之は本來の都會女に多い事で外出の際には、何家のお姫樣かと怪しまれる樣な立派な服裝をするが、家の中に居る時は、ボロ〳〵どろ〳〵な、白綿の喰み出した物を纏ふて居るのです實にさもしい根性です。無學無識から來る事です。身分不相應の見えを飾る虚榮心の結果です人が見て居ない時は、どんな風をしても構はぬと言ふ心は最も品性の劣等な證據で、斯種の人間は甚だ危險な、注意人物です。人が見て居なければ何んでもすると言つたものです。分相應な程度を守るといふ堅い操守があつたら「外の女王、内の乞食姿」をする要もなく、訪問者や巡査に、下女と間違はれて、業を煮やす必要もないでせう。着物で威張るよりは、確平とした眼差しで以て、他人の畏敬を得る事を心掛けた方が間違が少ないでせう。

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

凍瘡類の養生の仕方

立教女學校教諭　村松石子

口凍瘡は遺傳性

凍瘡は一種の遺傳性があるものらしく、御兩親の何れかにある時は、其のお子さん方にも多くあるやうに思はれます。而し成長するに從つて、漸時少なくはなつて參ゐりますが、幼い時分には隨分惱まされる事が多いのです。けれども未だ之に適する藥品は殆ど見當りませんやうです。唯凍瘡は血液の循還が惡く、冷える爲めになる事は事實でありますから、常に溫めて冷やさないやうにするのは、之を防ぐ一法であらうと存じます。主に寒くなり始めて、寒が過ぎて暖かになる際とを注意して、外出の時などは溫かい手袋で（ラクダの毛又は皮製の如き）よく包むやうにして置きます。

口温める工夫

而して一旦凍瘡になりましたらば、微溫湯を火鉢にかけてさめないやうして置き、二三十分間凍瘡の部分を其の中に浸して充分溫めます（お風呂に這入ればなほよろしい）そしてよく手を拭つて、其の後に油（毛髮用のものにてもなににてもよし）を丁寧に塗つて、惡い手袋をはめて置きます。潰れかゝつた時には繃帶だけを卷いて、他の藥品を用ひません。絆創膏等を用ひる方もありますが、却つて空氣が通つた方がいゝので、膏藥を用ひると反つて膿む事があります。繃帶は風呂に這入る時にも其のまゝで這入ります。そして出てから新らしいのと替へるやうに致す。

口皹の藥

皹や胝は水使ひする人に多いのでありますから、お臺所の仕事をする時には成る可く注意して手を使はないやうに同じ茶碗を洗ひますにも、水に浸けて置いてたわしで洗ふやうに工夫致します。而して手は何時も乾いて居るやうによく拭つて置くのです。而して時々同量の水とアルコールにグリスリンをアルコールの四分の一入れ、香水があれば適宜に加へた、荒れ抑えをつけて置きます。これは顏に用ひてもよろしい。

口胝と即効紙

胝は冷たい空氣に觸なければよろしいのですから、膏藥のやうなものを張て置きます。それには今迄絆創膏を用ひて見ましたが、目賀田男爵夫人の御經驗によつて、即効紙を用ひ初めましたらば、湯に浸けると剝げますが、跡が絆創膏のやうに汚れ

十二

家庭お化粧 (18)

▼神聖な家庭の象徴（シンボル）▲
▼現代要求の化粧法▲
＝皮膚の性質次第＝
＝生地を改良する＝

いかに土地を肥沃にするものでも、其の土地の性質を辨へないで施して居たのでは、迚も思ふやうに肥沃の地にすることは出來ません、地質にいろ〳〵の區別があつて、肥えたのもあれば、瘠せたのもあり、砂地もあれば、石地もあり、乾燥したのも、濕潤勝のもありまして、一樣には行きませんのと同じに、人の皮膚にもいろ〳〵の區別があつて、誰れも彼れも一樣とは言へないのであります。

此の區別を辨へて、各自にその皮膚に應じて手の入れ方を誤りませねば、美しくなつて行くことは疑ひのないことであります、皮膚そのもの丶性質に從つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ませんから、餘程よろしうございます。其の外は家に居る時は矢張り古い手袋をはめて居るのが宜しうございます。右の拇指と人差指の先きを切つて置きますと、仕事をするにも邪魔にはならなくて宜しうございます。

寒い日のお惣菜

一月の料理(二)

和田むめお

■狸汁（薩摩芋、牛蒡メリケン粉、胡麻油、味噌）さつま芋の皮をとり、擦金にかけておろして、少量のメリケン粉を混ぜたものを一口位づゝにちぎつては煮立つた胡麻油にてさつとあげておく。別に牛蒡の皮をこそげとり、一寸長さ程に笹がきにそぎて、灰汁出しをしてから、水を切りおき、普通の如くに味噌汁を作つて牛蒡を入れて煮、充分軟くなつてから揚げた薩摩芋を入れて、すぐに火から下して椀にもろ。粉山椒、七味唐辛子などを振かけると風味は更によくなります。

■豆腐の鳥味噌（豆腐、鳥肉、甘味噌、酒）豆腐一丁を三つ位に切り、煮出汁に鹽を入れたもので温まるまで煮てから充分に水を切りて用意しておいた鳥味噌を掛けて出します。鳥味噌は、鳥の挽肉又は、よくたゝいて細かにしたものを空煎りをして、少量の酒を入れてかき交ぜるとパラ〳〵になりますから、これにうら漉した甘味噌を適當に混ぜ合せて、煮出汁でゆるめ、極めて熱い中にかけて出します。

■鹽鱈コロッケ（鹽鱈、馬鈴薯、玉子、ケリケン粉、パン粉、ラード）鹽鱈をうでゝ身だけを擂鉢ですり、馬鈴薯は皮をむいて茹でゝうら漉して二つ合せ、少量の胡椒及鹽をまぜて小く丸めてから、常の如くに先づ玉子にひたし、次にメリケン粉に、次にパン粉にまぶしてラードにて揚げ、暖かい中にソースをかけて食べます。

氷豆腐料理

寒國の人

今年の冬は稀なる寒氣で、東京でも上等の氷豆腐が出來ます。同じ氷豆腐でも、乾物屋で賣つて居る、高野豆腐といふのは駄目です。あれは一度凍らして夫を熱湯で解かし、水を絞つて、乾燥し日數を經過した物だから日向臭く、ごみ臭くて餘り味の好いものでありません。昨今の寒氣を利用して各自氷豆腐の新らしいのを御風味なさい。夕方豆腐を買つて其儘笊に入れ椽外へ笊を釣つて置くと、一夜にして半透明な水飴色の氷豆腐が出來ます。翌朝之を取入れ、熱湯で解かし、海綿同樣になつたのを水氣を絞り、夫を爼板の上でさいの目なり、やつこなり、短册なりに切り、味噌汁の身にしても可し、晩に肉と一緒に煮てもよし、醤油の附け燒きもよし、味噌田樂も可し。生で食ふ豆腐とは、とんと違つた味です。そして當節なら一夜凍らしたのを其儘に四五日置いても腐敗は勿論せず、味も變らず、甚だ輕便な重寶なものです。寒國へ行くと冬は生の豆腐を食ふ事稀れで、皆好んで此氷豆腐を食ふのです。但し手洗鉢に一分厚の氷が張る位の夜を選ぶ必要があります。併し能く氷らなくとも何の損もない事です。

□練習生募集

尋常小學校卒業の者。三ヶ年卒業。月謝免除。材料貸與。二學年よりの製作品に對して工賃支給。卒業の上は教師として採用又は紹介（規則書郵劵二錢要す）

東京市九段靖國神社横
私立 大妻技藝學校

て美しくなるべき手入をするのは怎麼するのかといひますと、クラブ洗粉を用ひて一般的に皮膚を美化しました上で、その美を更に進め増して、美しくなるといふ果實を得るやうにすることであります。

クラブ洗粉は先づ地均しとして、いかなる皮膚にもその美化力を發揮し、各皮膚の性質を確めるのでありますから、此のクラブ洗粉を用ひて美しい皮膚となり、其の美を保つ爲めに、將た又その美を生來の天質に化するやうに、地肌の生地を改良して行くといふ順序になつて行くのであります。

それにはクラブ洗粉を用ひて洗ひ美化された皮膚がどんな性質であるかを明かにして、その性質に應じて、クラブ美身クリームかクラブ化粧水か、クラブ美身乳液かクラブ美身ゼリーかの化粧下美身料を適當に使用してどこまでも皮膚を美しくするやうに手入をするのです。（廣告）

十三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

職業案内（九）

刺繡

手藝品中最も六ケ敷いもの

女子職業學校刺繡科主任　林　利三郎

□

「ハンケチ位は」「襦袢の襟位は」はと、非常に手輕く稽古する事が出來るもの丶樣に一般に考へられて居りますが、手藝品中で刺繡位ゐ六ケ敷いものは恐らくあるまいと思ひます。或る一つのものだけを見本によつて指定されたやうに縫ふのならば成る程誰れにでも出來る容易い仕事かも知れませんが、尠くとも一人前と云はれるのには、多少圖案も考へられ、着色の配合位ゐ自由にする事が出來るやうにならなければならないのです即ち藝術的手藝品と云ふやうな部類に入るべきものですから、稽古した人誰でもが、一人前になると云ふ事は困難な仕事であります。

□

眞の刺繡と云ふ立場から考へますと、ハンケチ、襟等は勿論刺繡の一部分には違ひありませんが、所謂横濱もの（輸出品）と同樣之を別派のものとして居るのです、そこで襟、ハンケチの如きものに用ふる極く簡易な縫ひ方だけを練習するには、長い時日を要しますまいが、假にも刺繡を習はうと思へば、四五年は熱心にやらなければ、各種の縫ひ方を熟練させる譯には參ゐりません。そして之に藝術的趣向が加はつて初めて一人前の人となる事が出來るのであります

□

それ故に其の得る處の報酬も殆ど一定しては居ないのです、其の人の考案によつて高く取る事も出來れば、時には見積り違ひして、低廉な報酬で滿足しなければならない事もあります。襟一本でも半日で出來るのも、二日もかゝるのもありますが、これ等は凡て日當によつて値段を支拂ふやうになつて居て、一人八十錢から一圓四五十錢の割合です。模樣物で少し異つた趣向のもの等は、昨年の暮あたりは一人二圓位の割について居りました。刺繡の値段は丁度定期相場と同樣に、常に變動して居りますものですから、標準價格を附ける事は殆ど不可能であります。然し一人前の人でしたらば、どんな場合でも、今日は一人一圓の日當が取れぬと云ふ事はありません。

□

一人前として獨立出來ない人々は、主に横濱仕事の方に走るのですが、これは又時の景氣と密接の關係を持つて居りますか

十四

ら、素養の極く少ない人でも、一日に五十錢から七十錢も取れる事もありますし、二三年前ハンケチの全盛時代には、一圓以上になる事もあつた程ですが、今日では四五十錢に降つて居ります。から云ふ仕事は或る時には氣樂な面白い處もありますが決して永續的の仕事ではありませんから、之によつて立たうと云ふ方は、仕事の範圍が狹くても、それで獨立し得る迄の素養をつける事が肝要だと思ひます

紋等も矢張り特種のものとして居りますが、一人前に縫ふ人は一日に二反乃至三反、一反紋三つと假定されて居りますから一日に六個乃至九個縫ふ割合になります。そして其の賃銀は平均一反一圓八十錢位に見積られて居りますから、可成りにいゝ手間になりますが、紋專門に致しても、初めからでは矢張り四五年の稽古を積まなければ、一人前の働きをする事は困難であります、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雪姫物語

（中）

花崖

さて物語は愛子に戻る。其日夜になつても太郎が歸らぬものだから、愛子は漸々心配になつて來た。

「あの人はまあ何うしたのでせう？」と訝りながらいろ〳〵の人に聞いて見たが、誰も知つて居ない。結局太郎は行衛不明と云ふことに定められた。あゝ愛子に取つて此冬は何樣に長く寂しかつたであらう！一人として一緒に遊ぶ友もなければ、一緒に泣いたり、笑つたりする相手もなかつた。

人々は太郎を行衛不明と定めて仕舞つたが、併し愛子だけは未ださう諦めて仕舞はなかつた

「あたい新しい赤靴を穿かう」と大分暖くなつた春のある朝、愛子は呟いた。「太郎さんはあたいの可愛らしい赤靴を未だ見たことが無い。あたい之から太郎さんを探しに出やう」

朝は未だ大へん早かつたものだから、家の者も未だ起きないし、街路にも人子一人見えなかつた。愛子はお祖母さんにキスして家を飛び出し、市街を通り拔けて飄然と城門の外へ彷徨ひ出たのである。それからと云ふもの數限りもない難儀が彼女の上に起つた。併し涙の乾く間とては無いのに、戀しい太郎の行衛は皆目知れなかつた。さうして遂に彼女は運惡くか或は好くか、とある山道で追剝の手に捕まつた。追剝の家に捕虜の

身となつた愛子は其夜卻々眠れなかつた。すると夢現の境で愛子は二羽の鳥が斯う話してるのを聞いた。それは北國から歸つたばかりの雁であつた。

「さうさ、近頃ぢや皆雪姫の許へばかり行くよ。熱情なんて流行後れだからね。今ぢや冷たい理性が大流行さ」と第一の雁。

「でも太郎は其一人ぢやあるまい」と第二の雁。「兎に角太郎は雪姫と一緒に伴れ立つて行つたよ」と第一の雁の言葉を聞いた愛子は飛び立つて、

「何、太郎さんが雪姫と?! そして何方の方へ？」

「多分ラプランドの雪國だらうよ。馴鹿に聞いて見るとい丶。」

すると直ぐ側に居た馴鹿が

「うむ、彼處はい丶處だよ。雪姫の離宮も其處にある。本丸は確か北極さ」と云つた。

「お前ラプランドを知つてるかね？」と愛子。

「知つてるの段かい。生れ故郷でさあ。」

「明日竊りあたいを其處へ伴れてつておくれでないか？」

「え丶、よござんとも。」

其處で翌朝追剝達が仕事に出かけちまうと、愛子は馴鹿に乗つて疾風の如く雪深いラプランドへ旅立つた。併しラプランドの離宮には誰も居なかつたばかりか雪姫は北極の本丸をも移して、今は北極の其向ふに住んで居た。御殿は水晶宮と云つて、それは矢張り氷と雪ばかりで出來た壮大な併し冷い大伽藍であつた。太郎は其處に居た。が彼は何をして居たらう？二人は何うしただらう？

子供の智慧

口合資と帽子

蝶子ちやん（十才）の父樣がこの間亡くなりました。大きなお店は母さんさ其のお妹さんさが合資會社にして經營しやうさ頻りに相談して居られろさ、傍に心配さうに聞いて居た蝶子さんは「母さん、折角家では洋服裁縫で大きくなつたのを、今更帽子會社にしては損するさいけませんれ」さ注意しました。

十五

—（投書を歡迎します）—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說「力」（三）

木內錠子

「貴女だつて何時迄もさうして居らつしやられる譯でもないのでせう」

お英も同じ樣に躊躇らつた跡で、胸の底に一物ありげな重苦しい調子で口を切つた。

「えゝ」殆んど反射的に應じた悦子の返事は耳に入つた對手の言葉の內容と、決して一致したものではなかつた。先方が何を云ひ懸けやうと、どう出て來やうと、受付ける事も出來ない程、頭腦の中が種々な事でこぐらかつて居た。

種々な事――それは云ふ迄もなく、姉樣株のお英から斯う切り出されるより以前に、もつて居た、自分の未來に就いての心配と取越苦勞とであつた。

一人娘、跡取り、聟養子――それと同時に童貞女の生活――潔い犧牲――斯うした二筋に分れた道が、追分の樣に眼の前に擴がつて、悦子の覺悟をどちらにも引張るのであつた。

人に愛せられ暖かく幸福に世上の生活を送る姿と、苦業と祈禱に身を任せて、冷たい修院の壁の中に一生を葬る姿とが相並んで、悦子の眼の裡に顯はれた。

「一層思ひ切つて世間から離れやうとも考へますけれど――學校の方でも親切に仰在つて下さる方がありますし――でも中々自分の決心が明晰纏りませんのよ」

冷やかに落着いた眼の中にもどことなく當惑と不安の影が仄かに窺はれた。

世間並の生活と修院生活――斯う問はれて見ると、お英も一寸何と云つて挨拶したらいゝかまごつかされた。世故に老いた人が一樣に世間の若い娘を見ると、「結婚なさるのが順です、安全と幸福はそれ以外にありません」と說く丈けの經驗と自信とは此世間見ずの彼女に缺けて居た。されば云つて、必らずしも修院生活なるものゝ、實際が、書物の上や修道服の潔よい姿を通して想像せられる通りではないと云ふことも明らかに認められて居た。

「何處に居たつて矢張世間ですからね」

お英はもう一度以前と同じ言葉を繰り返したが、我ながら其場繕ひの無意味な返答のやうに思はれてならなかつた。

けれども別に何と云つて對手の心を和らげさせる事も出來ないのをもどかしく思つた。有體に云へばお英とても此二筋の生活の樣式には、久しいこと惱まされもし、今もつて解決されて居ない宿題となつて頭腦の心に殘つて居るのであつた。自分も其問題に對して行惱んで居るといふことが、同じ心の狀態にある此友の前に打明けたかつた。然し傲慢か自負心か自分よりぐつと年若な者に向つて、自分の大切な身の上に關する打明け話をする事が如何にも不安で、對手に此方の胸の中を見透かされる事を恐れた。

人に向つて惱ましい事、辛い事を打あけて、一時を慰められるのは、酒興に一時の苦惱をまぎらす樣なものだと思つて居る其時一時丈は晴々した樣でも、すぐ其跡から、よせばよかつた。はしたない女だと思はれはしないだらうか、と云ふ女の謹しみを自分から傷けたかのやうな悔恨が心頭に衝きのぼる。さうした苦い經驗も幾度か味ひなれて來た今日元來が因循とも用心深いとも兩樣に批評を下すことの出來るお英の性質は、愈々固く結ばれて、かけかはいのない話からいざと云ふ改たまつた場合に移るといつも沈默に終らせた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「人間は決して賴みにならないものですからね」

深い沈默に閉ぢられた二人の手持不沙汰をまぎらす爲に、何か皮切をしようと思つたのが、我知らず此樣な藪から棒な理窟めいた言葉に洩れてしまつた。

お英に云はせれば「人間は決して賴みにならないもの」と云ふのが、昔から彼女に染み通つて居る持論であつた。廣い天地に眞に心の底から打明けることの出來るのは、天主一人より外にない、至善至愛の耶穌を措いて外に求む可きでないと云ふのが、彼女の固い信念であつた。

「さう、それは成程其通りに違ひないでせう、けれども人間の間だからつて、一途にさう斷定を下し切ることも餘り酷に過ぎはしますまいか」

いつかうかと非樣な所信の一片を洩した時、世上の知識に富んだ先輩の一人が笑つて、お英の見解を和めるやうに云つた事が思ひ出された。

「さうでせうかしら、私の心が狹いのかも知れません。人の愛を眞實な心から受容れる事が出來ないなんて――」

口で斯うは云ひながらも、お英の固く思ひ込んだ斷案は中々跡へ引かれなかつた。

人間の信賴は相對的である、絕對的には天主より外ない、何事もいゝ可減な事の嫌ひなお英は、信賴するなら飽く迄と云ふ希望から、いつも人間を遠ざかりたがる傾向があつた。

「悅子さん、それを私に聞いたつて駄目よ、他人になんかそんな大事な判斷が下せるもんですか。貴女の天職は此世にあるか、修院の裏にあるか、天主樣でなくつては御存知ないのです。どつちに貴女の將來の席が設けられてあるか――貴女御自身天主樣にお尋ねなさるより仕方がありますまい。そうして其思召にお從ひなさる迄ですわ」

悅子が强ひてお英の意見を求めたら、是丈けしか答へられなかつたであらう。けれども是丈を明斷口に出すには少なくともお英自身とても矢張行迷つて居る此問題に、きつぱり解決がついて居なければならなかつた。

「もう私は攝理のまゝに任せるとしておきませう。此方でいくらやきもきしたつて、畢竟天主の思召がなるやうにしかなりませんもの」

一時太陽の面を掩つた風雲の樣に、先刻の不安當惑の暗い影はいつか消え去つて、悅子のにつこり微笑んだ目の裡には、又もとの凉しい沈着が戻つて來て居た。

讀者から

▲神戸高津久子様から

前號の社說「我が國民性とロダンの言葉」に就ての御感想、嬉しく承りました。青年期の而も年頭の希望に滿されて居る私は、強き共鳴と共に、更に一方ならぬ勵ましを受けました。私は常に現在の忙しい勉强が、單に此の僅か▲二年間の學生生活にのみ止づて終ふやうな、一時的、其の場逃れの勉强してはありたくない。願ふ事は死に至る迄、今持てる若々しい大望と多忙さを持續して行き度いと思ひます……なほ「學生招待會」の記事中、臺灣人の蔡さいふ方の話を讀み、御同感に堪へません。世の多くの親は靈性よりも智識や學問から得る特權を我が子に望まれて居るでせうが、私共も父母に其の期待に叛く多少の失望を抱かする恨みはあつても

▲どうか卒業後は　精神界の一人の娘となつて働らき度いと存じて居ります。新年早々のこの週報は一々私の心に徹しましたので、書き度い事は山々通いて參ります。御話の進歩と充實とは見逃がし難く、眞實に御悅び申上げます。私自身も、もつと肅淸な思ひを持つて、御話を始め、凡てに向つたならば、どんな細事にも眞理は存し、そして自分を敎へ導いて下さることゝ深く感じました。斯うした貴き敎訓を與へて下すつた御話に深く御禮申し上げます。

十七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□御講書始　宮中御講書始は九日午前十時鳳凰の間に於て行はせられ、天皇皇后兩陛下には、穗積法學博士の洋書（羅馬の英帝）松本文學博士の國書（續日本紀中元明天皇御即位の詔の一節）並に土屋鳳洲翁の漢書（中庸の解說）の進講を御聽取遊ばされました。

□皇后陛下より御歌下賜　皇后陛下には十六日午前十一時文部次官田所美治氏を經て、奈良女子高等師範學校に左の御眞筆を御下賜相成りました。

春日の山にいづる日の、くもらぬひかりあふぎつゝ、かざせやこゝろ花さくら、つさめよまことのをしへ草。
みなもと淸き佐保川の、みぎはのやなぎうちはえて、ふかきをたづねあたらしき、道にすゝめやひとすぢに。

右は昨年四月同校に行啓の砌り、野尻校長より何か御記念をと懇願申上げたるに依るとの事であります。

□御學問始　沼津御用邸に御避寒中なる東宮殿下には、十二日午前九時、御學問始業式を行はせられました。

□兩皇子御避寒　淳宮高松宮兩皇子殿下には、十日鎌倉御用邸に御避寒あらせられました。

□二十年式年祭　去る十一日は英照皇太后二十年式年祭に相當しましたので、午前十時宮中皇靈殿、及び京都泉山御陵に於て嚴かなる式年祭を行はせられました。

□三萬圓を慶應義塾に　畏き邊にては、慶應義塾の事業擴張計畫あるを聞し召され、御補助として金三萬圓御下賜の旨仰出されました。

◉聯合國の對米回答　本月十日佛國外相は聯合國の名の下に米國大統領に對する回答覺書を在佛米國大使に手交致しました。其の概要は、『聯合各國は米國覺書の崇高なる動機に對しては敬意を表するものなり、只現戰爭の滿足なる解決、即ち聯合諸國に於て當然要求の權ある被侵略地の復舊損害の補償及び將來の保障の確保、並に歐洲の將來を確實なる基礎に置くに足る平和が今日迄に實現し得べしとは信ずる能はず。顧つて兩交戰國を同一視する米國大統領の見解に對しては明白に抗議を提起す。我聯合諸國の期待する所のものは、自由正義の本旨に基き、且つ國際責務の遂行に關し終始變らざる誠意の上に平和を確保するにあり、米國政府の衷心所望せらるゝも亦此に存するを疑はず。』とて、聯合國は此の高邁なる目的を遂行し文明の將來の爲め、勝ちを制する迄戰はんと言明しました。

◉獨逸の辯駁書と第二通牒　獨逸政府は一月十一日在伯林中立諸國代表者に公文を送り、聯合側の平和提議拒絕に對し其立場を明かに致しました、（一）、露國は其領土内の異人種を虐待し、英國は愛蘭を壓迫す、國民主義に依りて國を樹つるの主義と相容れず。（二）、小國を保護すると稱する聯合側は、希臘に對し歷史上類例なき壓迫を加へつゝあり。（三）、英國は倫敦宣言及巴里宣言を無視し、無法の封鎖を行ひ、敵を饑餓に瀕せしめ、且中立國を迫害す。（四）、聯合國側は有色人種を戰爭に使用す。（五）、露國及佛國に於ける捕虜待遇は人道に反す。（六）、アルサスローレン、ガリシア、ヴコヴヰナ及東普魯西住民を移送したり。（七）、白耳義は開戰前より英佛に依りて、夙に中立を失ひ居りたり。（八）、今後戰爭繼續の責任は、聯合國側に歸すべし。

更に第二回通牒を出して、曰く、「中央列強は全世界を震撼せしむるに至りし這次戰亂の火元に就て論議するの要なし、吾人は寧ろ比の責任の奈邊なるやは後世史家の判決に委せんと欲す。獨逸の敵國は獨逸の提議を檢査せんとせず、又對案をも出さずして唯講和不可能なりとし、再び流血伏屍の慘狀を見るに至れるの責は全く敵國に在り。中歐諸國は此際唯平靜なる確信を以つて戰爭を繼續し、以つて其の國民の名譽生存自由及び發達を保證するに足る講和を贏ち得るに至るを期すべし。」と

◉露國首相更迭　露國首相兼交通大臣トレポフ氏辭職し、公爵ゴリッチン首相に任命されました。

◉勃皇太子と獨王子妃妹の婚約　勃牙利皇太子ボリス親王と、獨逸皇帝の第四王子オーギユスト、ウヰルヘルム親王の妃の妹なるヴヰクトリア女王との婚約成立せりと傳へられます。

◉支那人の凍死頻々　最近の長春電報によれば、昨今の寒氣にて支那人の凍死するもの多く、日々二三十名に達し、甚しきは二日間に百四十名の多きに達しても、官憲は何等の保護を與へず、死體を犬畜の如く、城外に投棄して、野犬は群り來つて、其の肉を喰む樣、實に見るに忍びざる由です。

◉筑波艦の爆沈　十四日午後三時十五分横須賀軍港第二區に碇泊中なりし軍艦筑波は、突然火藥庫より轟然たる一大音響起りて爆發し、上甲板上の乘組員は振動の爲めに海中に振り落され、艦體は大破され、大檣は挫折され、海上には後部約一丈餘の上甲板を止めたるのみにて、三時半全部沈沒致しました。當日は日曜の事とて、六百餘名の乘組員中半舷上陸を許しありし爲め、爆發の當時艦内にありしは約三百四十名でありましたが、其等の人々悉く海中に溺ひて慘狀を極めたと申します。折柄港内に碇泊せし、河内、生駒、榛名、金剛等の諸艦極力救助に着手致しました。原因は火藥の變質より生ずる自然の爆破にはあらざるかとの事ですが、目下調査中の事とて判明は致しません、以來死體の引揚げ等を急いで居りますが、今迄に發見したるは約三十名、負傷者四十餘名、行方不明者は百四十餘名に及ぶと申します。尚は爆發の箇所は艦の前部にて士官室は後部にある爲め、將校は前甲板にて小銃の照準教練を行つゝ殉職せる中尉谷口瑞一氏（廿六）を除く外は死亡者を出しませんでした。

▲筑波の艦歷　筑波は吳海軍工廠造に係り、明治三十八年進水式を擧げ、日露戰役後第一の建造になりし純日本製の軍艦にて、四十年に至り完成し、同年春米國に開かれたる萬國博覽會に千歲と共に遣米艦隊として派遣せらる。噸數一萬三千七百五十、長さ四百四十呎、吃水廿六呎、幅七十五呎、大砲數十二吋砲四、六吋砲十二、四七吋砲十二、一八吋砲二門等にして水雷發射管三、速力二十一節、乘組定員八百十七名。又前三回御召艦の光榮を得ました。

◉一千名の生埋　奉天の東約二十哩なる撫順炭坑大山坑は、十一日午後十時半より俄然爆發し、見る〳〵濛々たる紅焰を吐き、火柱を立てゝ奔上する事五時間に亘つたと申します。坑内にありし千百八十八名の坑夫は纔に二百餘名脫出するを得た

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る、九百七十餘名は燒死窒息或は生埋となりし由です。中日本人は十七名なりしと。損害約五十萬圓。

◉日本の學校に寄附 米國の富豪チャールス、エム、ホール氏は、去る一千八百八十八年アルミニユームの製法を發明して巨萬の富を積み、昨年死去いたしましたが、氏は逝去の際遺言して其の遺産約五千萬圓中三分の一は之をオハイオ州オベリン大學に、三分の一はケンタッキー州のベリア大學に、殘額の千五百萬圓は日本及び亞細亞諸州或はバルカンの學界に、一箇年百萬圓宛十五ヶ年間に寄附すべしと申しましたので、同氏と共にアルミニユーム會社にありし、同社々長アーサー、ビー、デビス氏は、其を實行すべく目下帝國ホテルに滯在して、我國の各學校を調査中であります。

◉岡山醫專へ寄附 岡山市の富豪山上來治氏は、今回金十萬圓を提供して岡山醫學專門學校内に研究室を新設し、之を同校に寄附する旨を文部省に出願しました。

◉同志社大學に寄附 船成金と歌はるゝ山本唯三郎氏は、嚢に同大學に新島襄氏の銅像を寄附し、今回は圖書館建築費中に六萬圓を寄附されました。

◉彫金界の泰斗逝く 帝室技藝員香川勝廣氏は昨年六月以來胃癌にて下谷區上野櫻木町の自邸に靜養中でしたが、十五日遂に六十五歲を一期として永眠されました。氏の代表的製作は澤山ありますが中、明治二十七八年戰役の際先帝陛下の命を奉じて、刻苦四年を費したる御佩用の御劍菊一文字の裝飾、及び明治三十一年巴里博覽會に出品して金賞牌を得たる、臘銀地板の大額面和歌の浦の絕景等著名のものであります。

◉劈頭第一の入學試驗 東京女子高等師範學校にては、十一日から十三日に渉って、今年四月入學せしむべき生徒の入學試驗を擧行いたしました。募集人員は百五名ですが、志願者は文科百七十二名、理科百十六名、家事一部百八十名同二部十七名、合計四百八十五名の多きに達し、中東京の受驗者は僅かに七十四名で、他は地方廳にて受驗したとの事です。尚ほ今年は山梨、宮崎の兩縣よりは東京の女高師へ入學志願せるもの絕無であったと申します。又先年來官費制が廢されたのと、本年度から滿十六歲から入學を許可する事になった爲め、志願者は十中の九分九厘迄若い高女卒業生でありました。

◉女子の專門學校入學檢定試驗 は十五日から麻布日ヶ窪の府立第三高等女學校で願書を受付くることになりました。試驗は來る二月十四、十五、十六の三日間同校で擧行されました。

婦人會

▲兩婦人會合同新年會 鍋島侯爵夫人の會長たる大日本婦人衞生會と婦人修養俱樂部とは合併して一月例會を、來る廿七日女子職業學校に於て開催し、二木醫學博士の講演の外餘興に琵琶長唄等を行ふさうです。**▲將校婦人會の講習會** 牛込若松町陸海軍將校婦人會にては廿一日頃より二週間の豫定にて大久保四谷青山方面の三ヶ所に於て絞染講習會第二回を開催する由。**▲花の日會の新年會** 花の日會にては、來る廿五日午後五時より麴町富士見軒に於て慰勞會並新年會を開催し天野、鳩山、岡田、入澤、近藤、中濱、片山、嘉悅、吉岡、跡見、金谷、吉村指原その他の會員全部三百餘名出席し晩餐會を開くとの事であります。**▲貴婦人の年始會** 吉例によって十日貴婦人の年賀交換會が午後二時から、麴町富士見軒で開かれました。會するもの七十餘名。

◉大橋松子刀自逝く 刀自は書肆博文館主大橋新太郎氏の母堂にて、賢婦人としての聞え高き方でありましたが、心臟狹窄症の爲めに九日遂に逝かれました。享年七十八。刀自が長岡藩御用達たりし故大橋佐平氏に嫁がれたのは二十一歲の時でした。暫くにして王政復古の萌に會ひ、佐平氏は熱烈な勤王論者として東奔西走せる間を幼兒なりし新太郎氏(七つ)弘道氏(四つ)を抱えて毫も内顧の憂ひなからしめ、後明治維新の大業あるに及び良人と共に上京して博文館を經營するに至りました。大橋家をして今日あらしめたのは、刀自の力また與って大なりと申さなければなりません。葬儀は十三日谷中齋場にて佛式を以って執行いたされました。

編輯室より

▲高島平三郎氏の「教育ある主婦へ」は兩三回に亘て執筆して下さる筈ですが家庭に入ると、とかく雜務に沒頭して修養を怠り勝ちになる婦人の生活を反省せしむるよき警告であると存じます。どうぞ御熟讀の上、周圍に御吹聽下さいまし。▲花瓶にさゝれた菜の花は、外の寒さを思はせぬまで春らしい氣分を與へてくれます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査・裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜木曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(毎週金曜發行)

定價表
△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等(表紙の二、三、四)金參拾圓
△壹等(白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の内側)金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行人 小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所 福音印刷合資會社東京支店
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、蜂間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
電話番町　六二番
院長　醫學博士　高田畊安
東洋內科醫院

電話ちがさき二一番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下常院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他
南湖院

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも同樣になります
殆んど新調す
和洋服外套インバネス・セル・ショール半襟毛皮等のクリーニング
ご染色を丁寧親切迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇八

內科
小兒科
第一家庭病院
院長　醫學士　加用信憲
（入院隨時）　牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇一）

◎產婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二二五七
東京至誠病院

給入
月刊
ローマ字世界
正月特別紙數增加號—本號に限り價十一錢
一部價十錢送五厘
半年送共五十錢
一年同一圓
（振替二一五〇四）

[redacted]
ローマ字に對する私の態度……法學博士　吉野作造
日本語の數言葉に就いて……文學博士　白鳥庫吉
蛇の神……
遠くで聞える音の不思議……理學博士　藤原咲平
新しい俳句とローマ字……荻原井泉水
月夜（俳句）……同上
英吉利の受けた空中攻擊……理學博士　田中舘愛橘
赫夜姫（お伽噺）……高木敏雄
其他「日本語研究」に「科學」に「藝術」に眞に有益な時代の先驅たる記事滿載　●肉趣味津々たる子供附錄添へあり

日本のローマ字社
東京市本郷區駒込曙町十一番地
振替東京二一五〇四番
電話下谷五七一〇番

料理講習會
會席料理
毎週土曜日午前中
會費一回卅五錢
束修五十錢
西洋料理
毎週月、金午前中（主婦さしての爲）
會費一回五十錢
束修五十錢
外に主婦以外の婦人の爲
毎週水曜午前中開催
會費一回五十錢束修五十錢
本鄕區彌生町三番地
電話下谷六八一五番
櫻井女塾

產科、婦人科、小兒科
女醫　井出茂代
東京府內藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供之友

（二月號出來）

△ナポレオン一代記

△變り繪新玩具 汽車の信號（特別附錄）

△空中の大運動會

△敵をも愛せ 意地惡の狸を助ける兎の義氣新しい意味のカチ〳〵山

△甲子上太郎手工競爭 根氣は最後の勝利

△子供手紙の文 ハッキリした手紙の書き方うつくしい繪入り

△嘘を言はないお友達 昔々ローマにあつた感心な物語

子供之友 金十二錢郵税五厘半年税共七十二錢

發行所 婦人之友社 東京雜司ヶ谷 振替東京一一六〇〇

高木[illegible]子考案

鳩印安全股引

此股引は男女の別なく和洋服の下に用ひて着心地よく從來のものと異り横でボタンを嵌め外すやうになつて居りますから衣裳を崩す患ひなく且つ暖かく至極衞生に必要な品であります

大人用 大 五十錢 小 四十五錢

子供用 カンビネーション 大 六十錢 中 五十五錢 小 四十錢

型紙何れも五十錢

ピーナットバター 一鑵 四十錢

ピーナットバターは蛋白質脂肪等を澤山含んで居りますから極めて滋養に富み便秘脚氣衰弱貧血冷え性肺病糖尿病等に特効がありまた日常嗜好用として料理に用ふれば何でも味をよくします其の他バタの代りにパンにつけるにもようございます

婦人週報社
代理部取次
振替東京三一六六〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

御料

御園白粉（みそのおしろい）

御園白粉及御園化粧品は御料に召させ給ふ本邦唯一完全高貴御化粧料にして専ら實質本位の製法に苦心を重ね取分け皮膚の衛生に留意し容器及體裁を飾らず一切の冗費を白粉其物に集中し弘く化粧界に貢獻せん事を期せり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全此上なく永久の保存と陽氣の變遷に堪へ効能の變る事無く濃淡自在乘りよく伸びよく斑點なく附き肌を透して自然の生彩を現はす事化粧界の記錄を破りたる模範品なり。

御園白粉
水白粉 御園の月
御園の花
御園なでしこ
御園四季の花
御園の露
御園の蕾
御園クレーム
御園香精
御園の橘
御園香油
御園歯磨

製造本舗 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA